

長坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第22号
(令和4年2月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信箋】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

主体的な進路選択を目指して ～ 第1学年・第2学年「進路学習 発表会」が行われました ～

去る2月21日(月)、第1学年と第2学年では、それぞれ進路学習の発表会が行われました。この発表会は、授業参観に合わせて実施し、保護者の皆様にも参観いただく予定でした。残念ながら、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために授業参観を中止したため、保護者の皆様にご覧いただくことができませんでしたが、生徒の皆さんは、発表に向けて、進路学習に積極的に取り組み、当日も立派に発表していました。また、調べ学習や発表資料の作成、当日の発表では、どの生徒も、一人一台のタブレット端末(クロムブック)を上手に活用していて、感心しました。

今回の学習の成果が、生徒一人一人の主体的な進路選択につながることを願っています。

【第1学年】

1月に行った「職業講話」をうけ、各自が関心のある職業について調査し、それぞれの職業について、仕事の内容・必要な資格・やりがいなどを、クロムブックを使ってまとめました。当日の発表でも、クロムブックを使ってのプレゼンテーションが行われ、工夫を凝らした発表がありました。



【第2学年】

昨年の進路学習をもとに、各自で関心のある高等学校や上級学校について調査し、それぞれの学校について、学校(学科)の特色・募集定員・入試科目・部活動・取得できる資格・卒業後の進路などを、クロムブックを使って資料にまとめました。発表会では、教室に掲示された資料の内容を、クロムブックなどを使ってクラスのみんなに伝えました。



新型コロナ「第6波」の収束へ向けて ～ 気を緩めることなく、粘り強く感染防止対策を！ ～

県下全域に発令されている「まん延防止等重点措置」の期限である3月6日(日)が近づいてきましたが、感染力が非常に強いオミクロン株のため、県内の新規感染者数は高止まりしているようです。学校では、先週から部活動が一部再開されましたが、依然として感染防止対策に気を配りながらの教育活動が続いております。

平戸市内でも、連日、感染者や濃厚接触者等が確認されておりますが、今のところ、本校では臨時休業等の措置をとることなく、教育活動を継続できております。

これは、生徒の皆さんや先生方、保護者や地域の皆様方が、それぞれの立場で、できる限りの感染防止対策に取り組んでいただいているおかげだと思います。ありがとうございます。

これからも、学校・家庭・地域が心を一つにして、できる限りの感染防止対策に取り組んでいきましょう。

